

水害時の消毒液の作り方

～ 次亜塩素酸ナトリウム編 ～

汚染の程度がひどい場合、長時間浸水していた場合には、「次亜塩素酸ナトリウム」が有効です。

ただし、皮膚に対する刺激や漂白効果があるので、取り扱いの前には、「消毒液を取扱う際の注意点」をご確認ください。

消毒液の作り方

- 次亜塩素酸ナトリウムは、市販の「家庭用塩素系漂白剤（濃度約5%）」に含まれています。
- ここでは、「家庭用塩素系漂白剤」を使用した、消毒液の作り方をご紹介します。
- ペットボトルを使用すると簡単に作ることができます（キャップ一杯が約5ml）

| 消毒液を使用する場所・物 | 出来上がる消毒液の濃度 | 作り方 |
|------------------|--------------------|--|
| 食器類 流し台 浴槽 | 200ppm (0.02%) | 家庭用塩素系漂白剤 10ml (ペットボトルのキャップ 2杯分) + 水 2.5ℓ (500mlのペットボトル 5本分)  |
| 家具類 床 | 1,000ppm (0.1%) | 家庭用塩素系漂白剤 10ml (ペットボトルのキャップ 2杯分) + 水 0.5ℓ (500mlのペットボトル 1本分)  |

消毒液を取扱う際の注意点

- 換気を十分に行ってください。
- 皮膚に対して刺激作用があるので、ビニール手袋等を使用してください。また、**手指・皮膚の消毒には使用しない**てください。
- 漂白作用があるので、**色落ちが気になる衣類等には使用せず**、他の方法（85℃以上の熱水消毒等）で消毒してください。
- 金属を腐食させる性質があるため、金属に使用したときは、念入りに水拭きしてください。
- 泥や汚れが残っていると消毒効果が低下するため、汚れをよく洗い流してから使用してください。
- 消毒液は、時間の経過とともに効果が落ちることがあるため、その都度使い切りましょう。
- 誤って飲むことがないように、**消毒液の入った容器には、消毒液であることを表示**してください。